

学問は繁栄の近道
犠牲は幸福の近道

平成23年6月30日

コガソフトウェア株式会社

代表取締役社長 古賀詳二

はじめに

私は6年前から社員教育の一環として、古賀詳二の一日一話を書いてきました。その文字数は20万文字を超えています。私は人類や日本人の将来に大変憂いを感じています。その憂いとは世界の人口爆発による地球規模の自然破壊による生物全体の絶滅です。また、日本は戦争に敗れ、新しい民主主義の下で、焼け野原から復興を遂げました。しかし、本当の民主主義を理解できず、多くの国民が義務を怠り、権利のみの主張で未来の日本国が未来の日本人が不幸になろうとしています。私が11年間、会社経営して学んだことから、これから私達は何をすべきかを纏めたものです。是非、読んでください。

平成23年6月1日（水） 一日一話 「貴方には何が見えていますか」

貴方の目には何が見えていますか。貴方の耳には何が聞こえていますか。もし貴方の目が視力を失い、漆黒の闇しか見えなかったら、貴方はどのように生きればよいか考えた事がありますか。もし、貴方の耳が何も聞こえなくなり、静寂しか聞こえなかったら、貴方はどのように生きればよいか考えたことはありますか。貴方の喉が振動しなくなり、貴方が言葉を失ったとき、貴方はどのように生きればよいか考えた事がありますか。貴方の目には何も見えていないのに貴方は幻を見ているだけと気が付くでしょう。貴方の耳は何も聞こえないのに貴方は聞こえている幻聴に過ぎないと気が付くでしょう。貴方の口から放たれる言葉は雑音に過ぎないことを貴方は気が付くでしょう。

貴方が視力や聴力を失くした時、貴方はその現実を嘆き、自分の不幸に苦しむだけです。貴方はそのことを今まで気が付いていなかったでしょう。貴方の目は真実を見ていなかった。貴方の耳は誠を聞いていなかった。貴方の口は真実の言葉を伝えていなかった。だから、五体満足を失うだけで、不幸になった自分の運命を呪うだけしかできないのです。

貴方の子供が視力を失くしたら、貴方は何をしますか。貴方の子供が聴力が失くしたら、貴方は何をしますか。途方に暮れるでしょう。そして、ただ貴方は子供の為に障害者手帳の申請を行うしかできないのです。それでは貴方も貴方の子供も絶対に幸福になることはないのです。

医者から見れば私は障害者です。しかし、両親も私自身も障害者手帳を一度も申請したことはありません。しかし、私は自立して生きています。私は幸福です。不幸な境遇と思ったときは努力していない自分がそこにありました。

現在の貴方は視力のない、聴力のない人間に等しいことを理解してください。そして、貴方が正しく見るために、貴方が正しく聞くために、貴方が正しく考えるためには真の教育が必要であることを理解してください。

人類史上最も不幸な境遇から愛情と想像を絶する努力により真理を掴んだ人がいます。その人の名前はヘレン・ケラーです。当社は人を育てる会社と公言しています。だから教育とは何か、人材育成とは何であるかを考えなければなりません。そして貴方の目に真理が見えるように、貴方の耳に誠の声が聞こえるように、貴方の口が真実を伝えることができるように考える必要があります。さらにこの社会のあるべき姿が何であるか考える必要もあります。

平成23年6月3日（金） 一日一話 「貴方には何が見えていますか（2）」

大阪維新の会（維新）府議団が提案した府内の公立学校の教職員に国歌斉唱時の起立を義務付ける全国初の条例案が2日、大阪府議会の教育常任委員会で可決されたと言うニュースは驚きに値する。国家国民に対して敬意と感謝の念のない教職員が子供を教育することは断じてあってはならない。当たり前のことを理解できない人が教育者にもいる。情けないことである。キリスト教信者がイエス・キリストを侮辱する行為に似ている。こんな事を条例にすること自体が哀しいことであろう。本当のことが見えていないのである。

貴方が幸福であるとき、貴方は必ず健康診断に行くだろう。そして、医学と科学技術によって開発された医療器具により、貴方の身体の状態を知ることができる。また、悪い部分があれば、再検査して、不健康な部分を治療できることになる。これは貴方の未来を知ることと同じである。貴方は街角に座っている占い師に貴方の健康診断を委ねることはないだろう。貴方は医師免許を持つ人に貴方の健康を委ねるであろう。

サイエンスは科学と翻訳される。科学とは体系化された知識や経験の総称、自然科学、人文科学、社会科学の総称である。しかし、現在の英語やフランス語等の science という語は、ラテン語: scientia に由来したもので、scientia スキエンティアは単に「知識」という意味でしかなかった。science の目的は「知ること」である。

私たちは小学校、中学校、高等学校、大学までに多くの事を学んできた。しかし、それが実社会でどれだけ役に立っているのであろうか。福沢諭吉先生は学問のススメの中で、日常に必要な事（実学）を学ぶのが好ましいと言っている。それは生きる上で最も重要であると。

平成23年6月6日（月） 一日一話 「貴方には何が見えていますか（3）」

江戸時代には士農工商という身分制度があった。商人の子供は商売を、物づくりの子供は物づくりを、農民の子供は農業を、武士の子供は幕府や藩の仕事をする決まっていた。だから、子供の頃から実学を学べた。しかし、現在社会では小学校から大学までほとんどの人に同じ教育を施している。昔の人は身分に違いはあるにしても、自分のなる職業はほとんど決まっていた。今は職業の選択するのは本人の自由であるが何をしたらよいか分からない若者が多い。身分制度を抜きにして職業だけを考えると昔の方が幸せだったと思われる。

無知なる者は人を犠牲にして幸福に成る。

智のある者は人を救うために苦悩する。

自立なき自由は不幸である。

自立した自由は幸福である。

自立するために学問をしなさいと福沢諭吉先生は言っている。自立心、独立心がなければ、新しいことは始まらない。新しいことを始めるためには学問が必要になる。私の夢は幸せな家庭を作ることであるという全く夢のないことを言う人がいる。新しいことを始めなければ、原始社会は原始社会のままである。妙ではないか？現在は1万年前の石器時代とは全く違う。長い歴史の中であらゆる学問が発展してきた。そして我々は1万年前の石器時代の人類よりは幸福に暮らしている。その恩恵を受けながら自分は努力したくない、学問して新しいことに取り組み人を幸福にしたいとは思わない。まったくもって身勝手である。現在社会の大きな問題は自愛心、郷土愛、愛社精神、愛国心の欠乏である。そして各々が孤独になっている。孤独こそが人間にとって最大の不幸であることも知らないで。

平成23年6月7日（火） 一日一話 「貴方には何が見えていますか（4）」

自由と平等について考えてみよう。

まず自由とは何か。

貴方は何処にでも住める自由がある。

貴方はいかなる宗教も信じる自由がある。

貴方は誰とでも恋愛できる自由がある。

貴方はいかなる職業にも就ける自由がある。

貴方は言論ができる自由がある。

貴方が貧乏であるのも自由である。

貴方が豊かになるのも自由である。

貴方が賢くなるのも自由である。

貴方が愚かであるのも自由である。

貴方が上人になるのも自由である。

貴方が下人であるのも自由である。

貴方が好かれるのも自由である。

貴方が嫌われるのも自由である。

しかし、他人のいかなる自由も束縛してはいけない、干渉してはならない。

これが自由の基本的考え方である。

平等とは人間の基本的権利であり、生命、財産、名誉の尊重を言う。貴方にも基本的人権があり、すべての人にも基本的人権があるから貴方は他人の基本的人権を犯してはならない。

貴方は自由と平等を理解したと思う。

ならば、次のことが真理であると言えよう。

貴方が貧乏であるのは貴方の自由なのである。

貴方が愚かであるのも貴方の自由なのである。

貴方が品格のないのも貴方の自由なのである。

だから、社会的地位が高い人や富を持っている人も自由なのであるから、それに対してそれを持たない人は恨んだり、嫉妬したりすることはできない。それはただ学問した結果の差であるからである。

私はこれまでIT業界未経験の人生の道に迷い込んだ社会人経験のある若者を採用してきた。私は採用した社員に人材育成の重要性を説き、IT技術という実学を身に付けさせ、その技術で終生生きることに困らないようにと創業以来教育している。当社の社員の中にはIT技術だけでなく、その発展として、他の分野を学問している者も現れている。

私は若い社員を板生清理事長（東京大学名誉教授）が主宰する特定非営利活動法人 ウェアラブル環境情報ネット推進機構の本郷の東京大学山上会館で開催される定例会と懇親会に参加させている。定例会では最先端の研究を聞くことができ、懇親会では一流の人とビールを飲みながら懇親できる。こんな機会は一般社会人にはめったにないので、若い社員は大変刺激されている。

若い頃、学問していない人は晩年に本当に苦勞することを正しく認識して、今からでも遅くはない、きちんと実学を習得するように努力しなければならない。

平成23年6月8日（水） 一日一話 「貴方には何が見えていますか（5）」

「新しさ」の必要性について考えてみよう。

人間は常に新しい時代を、新しい価値観を、新しい技術を、新しい思想を求めてきた。それは温故知新を繰り返した歴史である。この事を理解しやすい例で説明しよう。洋服の移り変わりは速い。洋服はファッションablでないと、大衆に飽きられる。ファッションデザイナーは常に斬新なアイデアや芸術性を求め、新素材を駆使し服飾を大衆に提案する。兎に角、春夏秋冬に合わせてファッションショーが世界中で開催されている。特に女性は新しいファッションを求め、服飾を買い求める。女性たちの要求を満たさないファッションブランドは姿を消してゆく。ファッション業界は常に新しさを求めて凌ぎを削っている。

我々のIT業界も日進月歩の技術革新で新しいアーキテクチャー、新しい言語、新しい製品が続々登場する。ITベンダーはユーザに新しい技術でシステム提案しなければ生き残れない。同様にIT技術者は常に新しい技術を勉強しないと時代から取り残され、いつの間にかIT業界から姿を消していく。他の業界も常に新しい技術や新しい価値観を駆使して新しい製品を開発している。

人間は時間を止めないで新しさを求めてきた。だから、現状に満足しないで新しいことに挑戦することが必要なのである。すべての分野に共通して言えることであるが技術者は技術の土台となる知識と技術を身にまとい、新しい技術の取得を楽しむようにする必要がある。

平成23年6月9日（木） 一日一話 「貴方には何が見えていますか（6）」

「会社」について考えてみよう。

企業とは営利を目的として一定の計画に従って経済活動を行う経済主体である。企業は公企業と私企業がある。話が広がらないように私企業の中の一般的な株式会社についてだけ話すことにする。

株式会社とは、細分化された社員権（株式）を有する株主から有限責任の下に資金を調達して株主から委任を受けた経営者が事業を行い、利益を株主に配当する、法人格を有する企業形態である。法人とは、自然人以外で、法律によって「人」とされているものをいう。よって、会社にも自由と平等が保障されている。また、納税の義務を負う。会社を設立する場合、法務局に株式会社であることを届けなければならない。法人登記が完了すると登記事項証明書が貰える。これはその法人が実在することを証明するものとして使用される。

株式会社の特質は、(1)法人格、(2)出資者（株主）の有限責任、(3)持分の自由譲渡性、(4)取締役会への経営権の委任（所有と経営の分離）、(5)出資者（株主）による所有の5点にある。

株式会社である以上、利益を株主に配当するために利益を追求しなければならない。しかしこ

こが問題なのである。利益を追求するあまり法律を犯す経営陣もいる。利益を追求するあまり倫理を捨てる経営陣もいる。これは目先の利益を確保できるが長くは続かない。天の道、人の道に外れた経営は淘汰されるからである。冒頭にある企業の定義の中の「営利を目的として」を「営利と奉仕を目的として」に変更することが望ましいと考える。

私は11年前に株式会社を設立した。会社を興し、会社を成長させながら継続することの難しさを痛感している。会社を10年も続けると自立した、独立したと言える。事業しながら、利益を上げながら、雇用を維持しながら、そして夢を持ちながら会社を継続するには多くの人達の支援がなければ、それを維持できない。それは法律、人、物、情報など万物の恩恵に与らなければならない。それは万物への敬意と感謝に繋がる。孫悟空は傲慢になり、何でも自分ができると思っていた。しかし、彼は釈迦の掌の中にいた。経営者も孫悟空なのである。多くの社会人は会社などの組織に所属して仕事を頂き、給与を頂き、人間としての尊厳を持って生きている。サラリーマンも孫悟空と同じである。釈迦の掌にあることを深く感謝しなければならない。

ちょっと、長くなったのでこの続きは明日にする。

平成23年6月10日（金） 一日一話 「貴方には何が見えていますか（7）」

「会社」について考えてみよう。（つづき）

私のところに帝国データバンクから毎日帝国ニュースの日刊冊子が送られてくる。主要記事は倒産情報である。毎日毎日倒産している。この3年間の倒産を調べると次の通りである。

2008年度（2008年4月1日～2009年3月31日）の1年間に負債額1,000万円以上の倒産は倒産件数1万3234件 負債総額13兆6709億2700万円であった。

2009年度（2009年4月1日～2010年3月31日）の1年間に負債額1,000万円以上の倒産は倒産件数1万2866件 負債総額7兆214億6100万円であった。

2010年度（2010年4月1日～2011年3月31日）の1年間に負債額1,000万円以上の倒産は倒産件数1万1496件 負債総額4兆5573億7600万円であった。

このように毎年1万社以上が倒産している。また解散・廃業している会社が毎年1万5千社ほどある。倒産と解散・廃業を合わせると2万5千社以上が1年間で無くなっている。

驚くべき事実である。一方会社設立はどうか調べたが統計情報がないため、実態が掴めない。

そこで、2010年版中小企業白書を調べた。それによると開業率・廃業率の推移という表があり、それによると

会社企業

91年～96年 1553千社

96年～99年 1665千社

99年～01年 1658千社

01年～04年 1607千社

04年～06年 1519千社

このように2000年以降、会社数は減少し続けている。06年以降の統計がないので何とも言

えないが、リーマンショックの影響を考えると継続して減少しているのではないか。

次に労働人口を統計局ホームページ／労働力調査 長期時系列データ 従業上の地位別就業者数（全国）で調べた。

ここで使用する常用雇用者とは企業（法人）で、雇用契約の形式の如何を問わず、期間の定めなく雇用されている労働者、過去1年を超える期間について引き続き雇用されている労働者、採用時から1年を超えて引き続き雇用されると見込まれる労働者のことをいう。具体的には、正社員の労働者、期間社員の労働者、パートタイムの労働者、役員を兼務している労働者、外務員である労働者、出向の労働者、海外勤務の労働者、外国人の労働者、休職中の労働者で、上記要件を満たすものがこれに該当する。

ここで使用する臨時雇用者は非正規雇用と言い、一般的に、有期契約労働者（期間の定めのある雇用の労働者）、派遣労働者（派遣法に基づく派遣により派遣先で就労する労働者）、パートタイム労働者（1週間の所定労働時間が通常の労働者の1週間の所定労働時間に比べて短い労働者）などのうち、1つ以上に該当する労働者の雇用形態の総称である。

自営事業主と家族従業員数は1980年を境に減少している。平成22年は昭和30年代の半強まで少なくなっている。

男性の常用雇用者数は平成9年（3070万人）をピークに減少している。平成22年には2865万人となっている。

男性の臨時雇用者数は昭和51年（58万人）から増加している。平成22年には222万人となっている。

女性の常用雇用者数は昭和42年（859万人）から毎年増加している。平成22年には1840万人となっている。

女性の臨時雇用者数は昭和42年（94万人）から毎年増加している。平成22年には430万人となっている。

これから見ると自営業が減少し、男性の常用雇用者数は平成9年から減少し、男性の臨時雇用者数は昭和51年から増加している。

一方女性の社会進出が顕著で女性の常用雇用者数・女性の臨時雇用者数とも継続して増加している。

総労働人口は平成9年の6557万人から徐々に減少して、平成22年には6256万人になっている。この13年間で約300万人の労働人口が減少している。

個人事業主では事業できなくなり、男性の社会的地位が低くなり、女性の社会的地位が高くなっていることが分かる。草食系男子、肉食系女子の表現が現実味を帯びてくる。今後も男性の受難な時代は続くようだ。当社の若い社員に聞いたことだが合コンで女性は男性が正社員であることが交際する最も重要な条件であると言っていた。常用雇用者には正社員、期間社員、パートタイムを含み、正社員の割合が定かではないが、常用雇用者の中で若者の正社員の割合が少ない実態があるのであろう。

平成23年6月13日（月） 一日一話 「貴方には何が見えていますか（8）」

「国家」について考えてみよう。

貴方達は国家について考えたことがありますか？貴方は日本国に生まれた瞬間に貴方は日本国憲法と日本国法律と契約したことを知っていますか？

私は成人式で20歳になる人に日本国の法律を厳守することの誓約書を書かせたら良いのではないかと政治家の秘書や弁護士に提言したことがあります。しかし、これは実現しません。なぜかというとな出生したときに暗黙の契約がなされているからでしょう。しかし、酒を飲んで暴れたりする成人式に何の意味があるのでしょうか？

私たちは自由と平等があると学校で学びました。しかし、戦前の人とはそうではありませんでした。明治憲法には天皇主権と書いてあります。その頃は日本国は天皇の為にあって、国民の為になかったのです。日本は第二次世界大戦で敗戦し、連合国軍最高司令官総司令部により占領され、米国主導により、現在の日本国憲法が制定されました。日本国民に国民主権を与えたのは米国であると言っても過言はありません。

米国はイギリスから自由と平等を勝ち取るために独立戦争を行いました。フランスは貴族から自由と平等を勝ち取るためにフランス革命をおこしました。一般人の自由と平等は歴史から見ると新しい権利なのです。

日本国憲法の三大原則は国民主権、平和主義、基本的人権の尊重です。国民主権とは国民が自分の国の事を決めるという意味です。平和主義とは戦争を放棄することです。基本的人権の尊重とは自由権、平等権、生存権、教育を受ける権利などを言います。そして、国民が勤勉・勤労により義務を果たしているときに国家は国民の権利を守ることができるのです。

貴方は善良な市民に対しては私には基本的人権があると主張できるでしょう。しかし、貴方は暴力団に対して私には基本的人権があると言えますか？多くの人はその勇気はないでしょう。米国、英国、仏国などは日本の立場を尊重するでしょう。しかし、世界の常識が通用しないような北朝鮮が日本にミサイルを発射する可能性があります。そのリスクがあっても日本は平和主義で軍隊を持たないのは正しいのでしょうか。貴方の財産を泥棒から盗まれたら、貴方はどうしますか？貴方は警察に犯人を捕まえてもらえるでしょう。もし、日本国に警察がなかったら、貴方はどうしますか？多分、貴方は自宅にピストルやライフルを用意するでしょう。これは西部劇と同じです。無法地帯になります。

国家は法と秩序を守るために多額の税金を使い警察や自衛隊などを組織して国民が安心・安全に暮らせるように、自由・平等などの貴方達の権利を守っているのです。

貴方達の自由と平等を守るために、貴方達は勤労して税金を支払う義務があるのです。国民が税金を支払わなかったら、国家社会は無法地帯になり、貴方達のすべての生きる上での権利は剥奪されるのです。

私は創業して以来11年間連続で経常利益を出し、法と秩序、自由・平等を守るために正しく各種税金を納めてきました。これからも正しい経営と正しい納税を行います。

平成23年6月14日（火） 一日一話 「貴方には何が見えていますか（9）」

「政治」について考えてみよう。（2）

日本の議会制民主主義は、国民主権の原則のうえに、普通選挙権によって議会の構成員を選ぶ政治体制である。選挙で選ばれた議員が民意を反映して政治が行われ、政策が実施されなければならない。一人一人の議員は公約を挙げ当選しているがそれが政党の意見と一致しなければ、国民主権の原則に反することになる。

前回の衆議院議員選挙で自民党が大敗し、民主党が大勝した。それは民主党の政策が良かったのではなく、自民党の政策に失望した結果の勝利であった。しかし、民主党のマニフェストが支持されたと詭弁を使い、政策を実行しようとした。これまで野党時代に全くもって政策を勉強しないで与党になって慌てて勉強しても、基礎がないから野党から与党への質問に対する回答が支離滅裂になった。挙句の果てに民主党は分裂してしまった。国民主権は無視され、国民不在の政治になった。では、誰が悪いのであろうか？

福沢諭吉先生は今から137年前の明治6年（1873年）に「悪政を生むには国民の無知に起因する」と言っている。

国民の中には無学で文字も知らず、善悪の判断もつかず、飲食と寝起きすることだけが芸であるような者も少なくない。しかも、無学なくせに欲だけは深く、人を騙して法を逃れ、国法の意義も知らず、自分の義務も果たさず、子供だけはつくるが、その子を教育する方法すら知らない者がいる。

これらは恥も法も知らない愚か者であり、そんな親に育てられた子は、国の為になるどころか、かえって害をなす大人になるだろう。こういう愚か者を扱うには道理を持って説くよりは望むところではないが力でもって脅かし、彼らの悪行を鎮めるしか方法がないであろう。

いうなれば、このことが世に横暴政治、専制政治を生む原因にもなるのである。わが旧幕府のみならず、アジア諸国も同様であった。つまり、一国の暴政や悪い政治家たちのせいではなく、国民の無知から招いた災いなのである。

今年2011年である。137年前の明治6年と何処が違うのであろうか。時代は変わるが人は変わらないということである。しかし、諦めては先人の努力を無にすることになる。良い政治を生むためには国民が自分の無知を深く反省し、学問することである。そして、与えられた国民主権を有意義に使わなければならない。

平成23年6月15日（水） 一日一話 「貴方には何が見えていますか（10）」

「福祉」について考えてみよう。

福祉とは「しあわせ」や「ゆたかさ」を意味し、それを実現するのが社会福祉政策である。日本国憲法第25条に書かれている「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」に起因し、それを社会保障は社会保険（医療保険、年金保険、労災保険、雇用保険、介護保険）、公的扶助（生活保護）、社会福祉（老人福祉、障害者福祉、児童福祉、母子福祉）で実現している。この社会保障を受けられるのは日本国籍を保有している者のみならず、日本に居住している外国人にも適

用されている。私の妻の国籍は中国である。しかし、日本国での在留資格は「永住者」である。私の妻を含む同じ在留資格の外国人は公民権以外はすべて日本人と同じ権利と義務を保有している。

神様が作ったような社会保障制度は完ぺきであるが人間がその立派な法律を施行するといろんな問題が発生する。無知なる国民は欲が深く、義務を果たさなくて、憲法で保障されている健康で文化的な最低限度の生活を営む権利が私にはあるのだと主張する。

社会保険庁の職員は憲法25条には頭を悩ませているだろう。私もこの社会保障制度には頭を悩ませている。なぜなら、これを実現するためにはそれなりの財源が必要となるからである。社会保険料を払えない中小企業は多いと思う。

起業してから半年ぐらいは社会保険に加入できなかった。それを支払う余裕がなかったからである。社員の親が息子に社会保険も加入できないような会社には勤めないほうが良いとアドバイスされたことを私に話した。それから単金の高い会社と取引するとか生産性を高めていかなければならなくなった。それから2ヶ月後に無理を承知で社会保険に加入した。社員にとっては当たり前だろうが経営者になるとその当たり前が非常に難題なのである。現在、会社の口座から引き落とされる毎月の社会保険料は約821万円で、年間で約1億円が引き落とされている。ただし、これには労災保険と雇用保険は含まれていない。中小企業にとって、不況でも雇用を守り、社員に生活基盤の保障を与えるのは至難の業なのである。私はその上に学問する必要性を説き、実学をしっかりと学ばせる環境をも実現している。経営者の経験がない人達はその苦勞と苦惱を実感できないだろう。

話を国家の社会保障に戻すが、少子高齢化社会でこれを持続することは不可能に近い。だれもがこの問題を真剣に考える必要があるのだが、常に先送りしているのが現状のようである。しかし、国家財政が破綻したら、ある程度の財産を持っている人を除く多くの国民はパニックになる。しかし、パニックになっても解決する方法はない。

例えば、生活保護者が200万人を突破し、戦後の混乱期と同じになり、受給世帯数も145万世帯強で過去最多を更新したという報道がなされている。どれだけの費用が必要なのか分からないが、一世帯10万円/月の扶助が必要だとすると、毎月1458億円の費用が必要となる。1年間では1兆7500億円となる。今後生活保護者が増加するのであれば、本当に深刻な問題になる。長期的な視野で考え、生活保護者を少なくするためには若い頃の学問のススメが重要となる。

例えば、財源が枯渇し年金が支払えないからと言って企業に60歳から65歳に雇用を延長させるように法律が変更させた。これで終わるとは思えない。近未来に定年を67歳とか70歳まで延長させるであろう。そうすると大企業は正社員を採用するより、他の労働契約を考えるであろう。さらに海外に拠点を移し、現地の低賃金の労働者を雇用することが加速すると思われる。そうすると日本国内の産業はさらに空洞化する。益々、国は活力を失くして、若い人たちは海外に職を探しに行くだろう。その悪循環は終わることはない。努力しなくても生きられる充実した社会保障制度が仇となって、日本国が衰退する原因になっている。「働かざる者食うべからず」

という大原則が社会保障制度の中にも必要となるだろう。

では、この問題を解決するにはどのようなことを行えばよいのでしょうか？

平成23年6月16日（木） 一日一話 「貴方には何が見えていますか（11）」

「日いつる国」になるためには何をすべきか！

遣隋使の小野妹子が、持って行ったとされる書簡の冒頭に「日出處天子致書日没處天子無恙云」と書かれている。これは日が昇る国の天子(国王)から、日が沈む国の天子へお手紙します。元気？という内容だそうです。書いたのは聖徳太子である説がありますが定かではありません。万葉集の編者でもある山上憶良が遣唐使として出向き、国号を「倭」から「日本（日の下にある国）」へ改称したことを唐王朝に伝えました。これは聖徳太子が書いたと言われる書簡を意識しているのでしょう。これが「日本」の始まりだと言われています。

私達日本人は100年に一度と言われる世界大不況に見舞われ、その2年後、1000年に一度と言われる東日本大震災に見舞われ、日本国民は大きな痛手を負いました。今政府は東日本の被災地の復旧・復興を最優先の課題として取り組んでいます。日本全体の経済の復旧・復興はできるのでしょうか？

日本の借金がGDPの2倍以上になっているのに赤字国債の乱発で、税制改革や社会保障政策の改革は先送りになり、この先日本国はどうなるのでしょうかと非常に心配しています。

もし、仮に政府に対して不平や不満を抱くことがあれば、裏で政府を恨むのではなく、正々堂々と公言して議論すべきである。天の道、人の情理にかなうことであれば、命を懸けてでも戦うのが正しい道で、これこそ国民としての立場なのであると福沢諭吉先生は言っている。私もまったくもって同感である。また、先生はこのようにも言っている。

いまの世の中に生まれて、国に報いる心を持つ者なら、誰しも心を苦しめ、身をこがすような心配をすることはないはずだ。そのために大切なことは、国民の一人ひとりが自分の行動を正しく保ち、学問に志し、広く知識を取得し、おのおのの立場に応じた才能と人徳を磨くことである。同時に政府は、政治をわかりやすく国民に伝え、その政策が国民に平安をもたらすべきである。そして国民と政府が一つとなって、わが国の繁栄と平和を築くことこそ、私のすすめる学問であり、その目的はこの一点である。

「日いつる国」なるためには我々は何をすべきか！

日本国民は日本国憲法を子子孫孫まで堅持するために官民挙げて国民の義務（教育の義務、勤労の義務、納税の義務）を優先しなければならない。

平成23年6月16日（金） 一日一話 「貴方には何が見えていますか（12）」

これまで11回に分けて話を続けてきましたが、貴方は何か見えてきましたか？

真言宗の修行の中に護摩というものがあります。その中の一つに内護摩があり、それは仏の智慧の炎で内心にある煩惱や業を焼き払う修行です。自分の為に生きると煩惱が深くなります。だから、他人の為に生きる必要があります。それをキリスト教では愛、仏教では慈悲、儒教では仁

と言います。

国民には権利と義務があります。権利は自分の為にあります。他方の義務は他の人の為にあります。その国民の義務には教育の義務、勤労の義務、納税の義務があります。

1. 教育の義務とは国・政府（中央政府・地方政府）、人（国民・保護者など）などが子供に受けさせなければならない教育のことである。義務教育の制度は、多くの国において普及している制度である。日本国憲法第26条第2項に、「すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ。義務教育は、これを無償とする。」と定められており、この規定に基づく教育を「義務教育」と呼称している。そのため、保護者は、学齢期の人を小中学校などに通学するように取り計らう義務がある。これを就学義務（就学させる義務）という。

国家は子供達に手厚い教育環境を整えているが、保護者の中には愚かな両親がいて、はなはだ問題があります。例えば学校などに対して自己中心的で理不尽な要求をする親がいる。それをモンスターペアレントといいます。一般社会経験の少ない教職員はその対応に悩み、心の病気になる者もいるらしいです。例えば、子供の給食費を払わない親もいます。例えば、子供に体罰を与える親もいます。例えば、離婚する親もいます。これは家庭崩壊や学級崩壊の原因になり、子供達が教育を受ける環境には不十分です。大都会では少子化にも関わらず、こうした学級崩壊問題に対して不安を感じる比較的生活に余裕のある親達は自分の子供を私立中学に通わせるケースが増えています。これでは本来の義務教育の趣旨に反する状況になっています。これらの問題を丁寧に解決する必要があります。

私は提案したい。婚姻する・しないは男女の自由である。子供を産む・生まないも親の自由である。また、離婚する・しないも婚姻者の自由である。ただし、子供を出産した場合、特別な理由がない限り、子供が義務教育を卒業するまで両親は離婚できないという法律を作るべきではないかと。養育費を払えばよい問題ではない。親としての責任を果たすべきである。道徳心だけでは解決できない問題になっていると私は思う。子供の立場でも考える必要があります。

平成23年6月20日（月） 一日一話 「貴方には何が見えていますか（13）」

2. 勤労の義務

誰もが「働かざる者、食うべからず」と言葉を知っているだろう。その語源は意外や意外、新約聖書に書かれている。これは数千年の長い歴史を生き抜いたユダヤ人の知恵なのである。それを新約聖書に書き遺している。それはテサロニケ人への第二の手紙の第3章に書かれているので、読んでみよう。

3:6 兄弟たちよ。主イエス・キリストの名によってあなたがたに命じる。怠惰な生活をして、わたしたちから受けた言伝えに従わないすべての兄弟たちから、遠ざかりなさい。 3:7 わたしたちに、どうなるべきであるかは、あなたがた自身が知っているはずである。あなたがたの所にいた時には、わたしたちは怠惰な生活をしなかったし、

3:8 人からパンをもらって食べることもしなかった。それどころか、あなたがたのだれにも負担をかけまいと、日夜、労苦し努力して働き続けた。

3:9 それは、わたしたちにその権利がないからではなく、ただわたしたちにあなたがたが見習うように、身をもって模範を示したのである。

3:10 また、あなたがたの所にいた時に、「働こうとしない者は、食べることもしてはならない」と命じておいた。

3:11 ところが、聞くところによると、あなたがたのうちのある者は怠惰な生活を送り、働かないで、ただいたずらに動きまわっているとのことである。

3:12 こうした人々に対しては、静かに働いて自分で得たパンを食べるように、主イエス・キリストによって命じまた勧める。

3:13 兄弟たちよ。あなたがたは、たゆまずに良い働きをなさい。

3:14 もしこの手紙にしるしたわたしたちの言葉に聞き従わない人があれば、そのような人には注意をして、交際しないがよい。彼が自ら恥じるようになるためである。

3:15 しかし、彼を敵のように思わないで、兄弟として訓戒しなさい。

私達は誰にも負担を掛けないように日夜、労苦し努力して働き続けることである。本当に困った人は助けなければならないが、怠惰な人を助ける必要はないと聖書は言っている。聖書に書いてあるのだから間違いはない。

日本には11月23日を勤労感謝の日として祝日にしている。この日は収穫物に感謝する大事な行事として飛鳥時代の皇極天皇の時代に始まった新嘗祭（にいなめさい、しんじょうさい）の日に由来する。生きることは感謝である。働くことができることも感謝である。労働により得られるものは神々（天）の恵みとして感謝しなければならない。それが勤労への感謝なのである。

貴方が無職であるとき、貴方は生きる希望があっただろうか？決してなかった。でも就職してから、貴方は生きる希望を持てただろう。貴方が無職であった時の事を思い出しなさい。そうすれば、貴方は人の情けで仕事に就け、人の情けで仕事をしているのを理解できるであろう。決して、憲法で言っている労働する権利は保障されていないことが分かるであろう。それを十二分に理解すべきである。

平成23年6月21日（火） 一日一話 「貴方には何が見えていますか（14）」

2. 勤労の義務（2）

各種データを基に現状が大変厳しく、未来はさらに厳しくなることを理解する必要がある。

（1）世界の人口爆発

イエス・キリストが誕生した頃の世界の人口は1億人（推定）で、東ローマ帝国が最盛期の西暦1000年頃には2億人（推定）と人口増加は緩やかであった。18世紀～19世紀に起こった産業革命が人口爆発の起因となり、西暦1900年には15億人となり、100年後の西暦2000年には65億人と急激に増えた。西暦2010年10月現在の国連推計で世界の人口は6

9億人であった。40年後の西暦2050年頃には90億人を超えると予想されている。人口爆発は食糧不足、住宅不足、用水不足、雇用不足など人間が人間らしい生活に必要な物の不足に拍車を掛ける。さらに資源（水資源、鉱物資源、森林資源、水産資源、海底資源、海洋資源、遺伝資源、電波資源など）の枯渇が起き、自然破壊（森林破壊、大気汚染、海洋汚染、土壌汚染、生態系破壊）が起こり、人類を含む生物が生存できない状況になる。人間の命は地球より重いと言われるように簡単なことでは人口爆発は神でも止められない。

ここでは「勤労の義務」を話しているので、雇用問題を考えると世界の人口爆発が世界中での高い失業率の原因になっている。特に発展途上国の人口爆発が先進国の雇用に暗い影を落としている。さらなる人口増加は各国の雇用問題を深刻化させる。

（2）日本の少子高齢化社会

日本の人口は8世紀には450～650万人。1000万人を越えたのは中世後期、早くとも15世紀以降と考えられている。江戸時代前半の17世紀に急増し、18世紀から19世紀は3000万人前後で安定化した。1920年では5596万人、1950年では8319万人、1970年には1億372万人と1億人を超えた。昨年の2010年国勢調査によると日本の人口は約1億2800万人である。これが日本の人口増加の歴史である。

数年前から少子高齢化の影響で日本の人口は減少に転じた。2010年の推計人口によると、65歳以上の人口は2944万人となり、総人口に占める割合は23.1%と過去最高を更新した。一方、2009年には出生数が約107万人、2010年の月報年計の概数では、出生数が約107万人と少子化に歯止めがかからない。これからも高齢者の比率は高まり、若年層の比率が低くなっていく。

国立社会保障・人口問題研究所によれば、人口推計の出発点である平成17（2005）年の日本の総人口は同年の国勢調査によれば1億2,777万人であった。出生中位推計の結果に基づけば、この総人口は、以後長期の人口減少過程に入る。平成42（2030）年の1億1,522万人を経て、平成58（2046）年には1億人を割って9,938万人となり、平成67（2055）年には8,993万人になるものと推計される。出生高位推計によれば、総人口は平成65（2053）年に1億人を割って9,944万人となり、平成67（2055）年に9,777万人になるものと推計される。一方、出生低位推計では平成54（2042）年に1億人を割り、平成67（2055）年には8,411万人になるものと推計される。

このように出生低位推計では45年後には現在より4400万人弱の人口が減少し、日本の総人口は8400万人強となると予測されている。今後出生率を上げないと人口減少に歯止めは掛からない。

（3）日本経済の現状

日本は1995年から15年間GDPの成長率が停滞している。2010年の国内総生産（GDP）は名目GDPが479兆円で、実質GDPが539兆円である。

借入金、政府短期証券を含む日本全体の債務残高は増加して、現在は1137兆円になっている。今後さらに増え続けて行く。

<http://www.kh-web.org/fin/>

を参照している。

日本全体の借金はGDPの2倍である。これは想像を絶する数字であることを日本国民は認識してほしい。

最近の生活保護者が約300万人、平成21年度末現在の老齢年金受給者数（厚生年金保険：1289万人、国民年金：2481万人）となっている。

総務省労働力調査によると平成23年2月分労働力（就業者：6211万人、完全失業者：302万人、非労働力人口：4530万人）、就業者：6211万人（男：3596万人、女：2615万人）、雇用者：5475万人（男：3143万人、女：2332万人）である。

また、労働力調査（詳細集計）平成23年1～3月期平均全国（岩手県、宮城県及び福島県を除く結果の概要によると、雇用者（役員を除く）（4904万人）のうち、正規の職員・従業員は3164万人と、前年同期に比べ53万人の減少、非正規の職員・従業員は1739万人と、103万人の増加、非正規の職員・従業員のうち、パート・アルバイトは1189万人と、84万人が増加した。正規の職員・従業員の労働人口が減少し、非正規の職員・従業員が増加している。それは若者が国家や社会に不信感を持ち、希望を失くし、無気力化に拍車がかかることになる。

平成23年6月22日（水） 一日一話 「貴方には何が見えていますか（15）」

3. 納税の義務

国家が法と秩序を守るためにはお金が必要となります。それを租税という形で国民に納めてもらいます。貴方が平和で安心な暮らしを営み並びに自由と平等を主張するためには法と秩序を維持する為の費用を納めなければなりません。もし、貴方が北朝鮮に生まれたら、貴方には生きる恐怖が待っていたでしょう。もし、貴方がソマリアに生まれたら、貴方はもっと過酷な運命が待っていたでしょう。もし、貴方が中国に生まれたら、貴方は政府を批判ができないのです。現状の中国国籍のある中国人は外国に住んでいても中国政府の批判はしません。貴方は日本に生まれたことが大変運が良いことを知らないのです。貴方は他国の政治経済情勢を知らないでしょう。当たり前と思うことを実現するのは大変難しいことなのです。日本人は人類が理想とする憲法が日本にあることを誇りに思う必要があります。自由、平等と平和を実現するために、貴方は勤労して、喜んで税金を納めなければなりません。私は納税することに誇りを感じています。そのことを中小企業の立場で創業以来11年連続黒字決算していることで証明できます。

それではどのような租税があるのでしょうか。

国税

直接税

所得税、法人税、相続税・贈与税、地方法人特別税

間接税

消費税、酒税、たばこ税、たばこ特別税、揮発油税、地方揮発油税、航空機燃料税、石油ガス税、石油石炭税、自動車重量税、印紙税、登録免許税、電源開発促進税、とん税、特別とん税、関税（原油等関税など）

地方譲与税関係

地方揮発油譲与税、石油ガス譲与税、航空機燃料譲与税、自動車重量譲与税、特別とん譲与税、地方法人特別譲与税

地方税（都道府県）普通税

道府県民税

事業税、地方消費税、不動産取得税、ゴルフ場利用税、道府県たばこ税、自動車取得税、軽油引取税、自動車税、鉱区税、固定資産税（特例分）、法定外普通税

目的税

狩猟税

地方税（区市町村）

普通税

市町村民税、固定資産税、軽自動車税、市町村たばこ税、鉱産税、法定外普通税

目的税

入湯税、事業所税、都市計画税、水利地益税、共同施設税、宅地開発税、国民健康保険税、法定外目的税

これだけの租税があるのです。しかし、なぜ、財政赤字になったのでしょうか？それは政治家個人と政党が国民に支持を得るために、国民に飴（いい話）を与え、国民に犠牲となる増税や社会保険の負担増や福祉費用の減額などの鞭を打たなかったことが原因なのです。政治家個人や政党の保身を見抜けない国民の愚かさが今日の巨額財政赤字を生んだ根本原因なのです。

平成23年6月23日（木） 一日一話 「貴方には何が見えていますか（16）」

愛について考えてみましょう。

これまでの15回の中で、貴方が野獣の住んでいるジャングルに住んでいないことが理解しました。私も貴方も法の下で自由と平等の権利が与えられた法治国家に住んでいます。これは人類がチンパンジーから進化し、頭脳を発達させ、1万年くらい前に文明を作り、それから権力闘争のために戦争を繰り返しながら、逆に人が幸福を得るために様々な宗教、様々な哲学、様々な科学を発展させてきました。現在の文明・文化は先人の苦悩と知恵の結晶です。そして、少しでも、自分達の世代より次の世代が幸福になるようにと親が子供の為に祈念することの歴史でもなったのです。

恋の古い字は「戀」です。それは左右に糸を書き、中央に言の字を配してある。糸が左と右に

あって、容易に裁ち切れぬさまを表し、糸が乱れて千々に乱れる心の模様を表しています。「筋肉の痙攣」を想像してみれば、恋は好きな異性を思う心の痙攣と言えるでしょう。

愛という字は、昔は「死+心+久」と書いた。死とは、人間が腹をいっぱいにつまらせて、ウーンと後ろにのけぞった姿である。「心+久」は憂（ユウ）と同じ意味である。だから、愛とは、異常な心の高まりだから、愛の心は必ず「切なさ」を伴うものだ。そして「切なさ」は、むしろ悲しみに近い。要するに愛も「胸いっぱいの切なさ」を表している。辞書によると「愛」は

1. 親子・兄弟などがいつくしみ合う気持ち。また、生あるものをかわいがり大事にする気持ち。（愛を注ぐ）

2. 異性をいとしいと思う心。男女間の、相手を慕う情。恋。（愛が芽生える）

3. ある物事を好み、大切に思う気持ち。

4. 個人的な感情を超越した、幸せを願う深く温かい心。（人類愛）

5. キリスト教で、神が人類をいつくしみ、幸福を与えること。また、他者を自分と同じようにいつくしむこと。

6. 仏教で、主として貪愛（とんあい）のこと。自我の欲望に根ざし解脱（げだつ）を妨げるもの。

1. ~ 4. は個人的な愛であり、これを狭義の愛と考えられる。

5. は広い意味で使われる。

6. の貪愛は利己に由来し、自分を見失うことになる。

では、広い意味の愛とは無条件の愛、万人に平等な愛、神が私達に与える愛、見返りを求めない愛とキリスト教では言っている。

結婚式で神父が新郎・新婦に語りかけている「コリント人への第一の手紙」の一節に愛について語られている。

13:4 愛は寛容であり、愛は情深い。また、ねたむことをしない。愛は高ぶらない、誇らない、

13:5 不作法をしない、自分の利益を求めない、いらだたない、恨みをいだかない。

13:6 不義を喜ばないで真理を喜ぶ。

13:7 そして、すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐える。

私は社員を「愛」を持って育ててきた。途中にはいろんな困難があったが、社員の両親が安心する社会人に成長していると私は確信している。多くの人達が己の貪愛を捨て、見返りを求めない愛で隣人に気長に接すれば、多くの人達が正しく育つ。そして不可能と思えることが可能となる。

平成23年6月24日（金） 一日一話 「貴方には何が見えていますか（17）」

「生きること」について考えてみましょう。

貴方はなぜ、何の為に生きていますか？このことについて貴方はこれまで考えたことはありますか？貴方は、美味しい物を食べる為に、遊ぶ為に、海外に旅行する為に、高級ブランドを身にまとうために生まれてきましたか？そうではないでしょう。貴方は仕事をする為に、趣味を楽しむ為に、結婚する為に生まれてきましたか？そうではないでしょう。貴方は生きることのみ

的を知らない。だから、些細な事に苦悩し、貴方は未来に不安を感じるのです。では、貴方はどうして生きているのでしょうか？貴方の生きることの真の目的を考えてみましょう。

それでは、宇宙の誕生から遡って考えて見ましょう。温故知新ですね。以前であれば、ビッグバンは宇宙の始まりでその前はなかったと考えられていましたが今の天文学（膜宇宙論）では約137億年前に、ほんのちょっとしたきっかけで膜と膜が近づいていき、衝突してすりぬけ、このときに熱や放射能が大量に発生した。これが膨張宇宙の始まりであるビックバンと考えられています。話が横道に入っているという指摘をされるでしょう。しかし、宇宙が始まらないと我々の話も始まらないのです。ビックバンによりこの宇宙が誕生し、進化が始まり、やがて宇宙空間には恒星が誕生し、その恒星の集まる銀河が生まれ、その銀河の集まる銀河団が生まれました。宇宙空間には数千億個の銀河があると言われていています。その銀河の一つに2000億個の恒星からなる「天の川」銀河があります。その天の川銀河の中に「太陽」という恒星があります。太陽は46億年前に超新星爆発で散らばった星間物質がふたたび集まって形成されました。同時に9つ惑星からなる太陽系も誕生しました。それらの惑星の中に我々が住む地球があります。

我々の地球では38億年前に生命体であるバクテリアが誕生し、20億年前に大気中の酸素が増加、オゾン層が形成されました。また真核生物が出現しました。10億年～6億年前に多細胞生物が出現しました。5億年強前にカンブリア爆発と呼ばれる生物の多様化が起こりました。この後、三葉虫、節足動物、4億年前にアンモナイトが出現し、陸上には大森林が形成され、陸上にも動物が進出した。

生物は生き残る為に多様に進化しました。生物は隕石の衝突や大陸移動、気候変動などで幾度となく大量絶滅しましたが、それにも負けないで生き残ってきました。生物は生き残るために進化してきました。生物は生き残るために子孫を残してきました。生物は繁栄、衰退、絶滅や進化を繰り返しながら生き残ることを選択してきました。

我々人類も生物の一つである。だから、人類も他の生物の営みと同じである。我々人間も子孫を残すために生きている。絶滅しないように進化しなければならない。生きていることは命をつなぐことである。また、環境変化に耐えられるために進化しなければならない。それが生物の掟である。どうやら、貴方の生きる目的が見えてきたようですね。

1. 貴方の生きる目的は子孫を残すこと。
2. 進化は貴方の生き残る為の手段である。

平成23年6月27日（月） 一日一話 「貴方には何が見えていますか（18）」

1. 貴方の生きる目的は子孫を残すこと。
2. 進化は貴方の生き残る為の手段である。

貴方がこれに従った生き方をすれば貴方は祝福され、幸福である。貴方がこれに背いた生き方をすれば、貴方は悩み苦しむ。この2つの前提を基に人間のすべての行動は説明できる。

まず、貴方が存在することは宇宙誕生から137億年間のすべての進化を貴方は記憶している。137億年間と気の遠くなる時間を超えて命が繋がれた。貴方は幾多の大量絶滅の難を超えてこ

ここに生きている。貴方が人間になってからも、先祖は結婚し子供を生み育ててきた結果、貴方はここに生きている。宇宙誕生から遡って考えれば、貴方が生きていることは奇跡に近いことなのである。その奇跡を大切にしなければならない。そして、その奇跡を継承しなければならない。

フィボナッチ数列とは $F_{n+2}=F_{n+1}+F_n$ ($F_1=1 F_2=1$) で表される数列です。ヒマワリの種のらせんの本数はフィボナッチ数列に含まれている。筒状花、松かさやパイナップルの実についてもヒマワリ同様のらせんが現れている。オーム貝に見られる螺旋もフィボナッチ数列に含まれる。自然界にはフィボナッチ数列が潜むものが他にも沢山あるようだ。フィボナッチ数列は黄金比に近似される。私達が使う名刺の縦横比は黄金比になっている。「ミロのビーナス」や「モナリザの微笑み」は黄金比で作られ、描かれている。また、黄金比美容整形もある。黄金比で作られたものは自然の厳しい環境を生き抜いた形であり、安定している。人がそれを見て安らぐのも当然である。だから、貴方はヒマワリやバラを美しいと感じる。人の目には黄金比に近いものを美しく感じ、黄金比から遠ざかると醜いと感じる。

女性は美しくなりたいと思うのは黄金比に近づきたいという進化なのである。男性は黄金比に近い女性ほど好きになる。人間の目は黄金比を好む傾向にあるからだ。だから、女性は美人になる努力をすべきである。女性は化粧したり、装飾品を身にまとふのは美しさを助けてくれる行為なのである。実際に高級ブランドを身にまとうと女性はエレガントになる。女性はエレガントになることで男性を誘惑している。これは昆虫が発する性フェロモンに似ている。

美しくなりたいと思う女性の気持ちがまさに生き残る為の進化なのである。美味しい食事は美しさへの憧れである。勉強で知識を蓄えるのは心の美しさに磨きをかける行為である。また華道、茶道などを習うのはこれも優雅な美を手に入れ、自分の美しさを進化させることである。これは良い男性を誘惑して、丈夫な子供を安心して育てられるからである。遊びたい、旅行に行きたいと思うのは新しい出会いを求める行為なのである。恋愛は子孫を残したいと思う行為である。女性は愛されると美しくなる。強く愛されて生まれてくる子供は元気に良く育つ。女性は出産しても黄金比を意識した生き方をしなければならない。それは妻が太ると夫は妻への愛が減り、浮気する確率が高くなるからである。また、子供は親を模倣する傾向にあり、太っている母親を見ると娘は太るからである。また、子供を出産してからは、母親は贅沢を慎み、質素な生活を心がけるべきである。なぜなら、子供は模倣するからである。質素な生活で蓄えたお金は貴方と子供の学問に使うべきである。

正しい生き方や仕事は人間を成長させる。成長は以前の自分からの進化である。だから、奉仕や犠牲を意識した仕事は良い結果を生み、人から好かれる。好かれることは貴方の生存を助けてくれる。また、貴方の子孫が繁栄することにもなる。企業に属して働いて報酬を貰うことは仕事であるが、育児したり家事したりというのも立派な仕事と考えれば良い。仕事は責任が発生するから心を成長させ、己の心を良い方向に進化させる。仏教の八正道や儒教の徳のある生き方は貴方の人間としての成長を助け、貴方の生存を助けてくれ、貴方の子孫の繁栄をも助けてくれる。女性が心身とも美しくなろうと努力することは命を繋いでくれた先祖への感謝であり、子孫繁栄への約束手形なのである。

平成23年6月28日（火） 一日一話 「貴方には何が見えていますか（19）」

動物の世界では弱肉強食とか食物連鎖など、生きるために厳しい戦いがある。弱い小さな動物は生き残るために多くの卵を生む。大きな動物は生きるために多くを捕食しなければならない。人間から見れば残酷なようだが、それが動物の生きることの掟である。

人間は第二の遺伝子である知能を持ち、弱肉強食の頂点に君臨している。しかし、人間の世界でも激しい生き残りの戦いがある。昔は王として君臨した者もいる。あるいは逆に奴隷となった者もいる。貴賤上下の差別が歴然とあった。今では多くの国では身分の差はないが、貧富には差がある。それは難しい仕事は報酬が多く、易しい仕事は報酬が少ないからである。それは学問の差によって生ずると福沢諭吉先生は言っている。

この世の現実存在はすべて、すがたも本質も常に流動変化するものであり、一瞬といえども存在は同一性を保持することができない諸行無常なのだから、人間社会も新しい時代、新しい価値観、新しい文化、新しい技術を欲している。だから、それに対応するために各自が変化しなければならない。これこそ進化なのである。常に学問して精進しなくては生き残れない。何時も謙虚で素直な気持ちで生きる必要がある。女性が惹かれる男性は優しい。優しさの奥には強さと豊かさが隠れている。学問の目的は平和と繁栄であるから、絶え間なく学問して、一生懸命に働かなければならない。そんな人は誰からも好かれる。そんな彼は祝福され繁栄する。そして、彼の一家も繁栄する。その彼が多ければ多いほど程、国家が繁栄する。

平成23年6月29日（水） 一日一話 「貴方には何が見えていますか（20）」

貴方の目に真理が見えるように、貴方の耳に誠の声が聞こえるように、貴方の口が真実を伝えることができるように考える必要がありますと云う命題から始まり、今回が最終回になります。貴方は生きる真理が多少分かりましたか。これまでの人生を省みて、これから何をしなければならぬか見つけられましたか。

最後に、貴方が突然失明したら、どうしますか？その時、誰にすがりますか？国家の社会保障制度に頼りますか？貴方の子供が突然失明したら、どうしますか？貴方は国家の社会保障制度に頼りますか？多分、貴方も子供も決して幸福にならないでしょう。なぜなら、国家は貴方達の権利に対して与えるだけでそれ以上のことはしません。だから貴方や子供は幸福にはなりません。そんな貴方は健常な時に自分を犠牲になり他人に尽くさなかったからです。貴方が若い時に傲慢だったり、感謝の気持ちを持たなかったりしたから、老人になって周囲から優しくされないのです。それを因果応報というのです。しかし若い頃にはなかなか大切な事に気がつかないのです。貴方が健常であるときにも気がつかないのです。貴方が突然失明しても、老人になっても、幸福でいられるためにはどうすればよいのか考えましょう。

仏教に布施ということばがあります。布施とは慈悲の心をもって、他人に財物などを施すことです。真言宗最福寺の池内恵観法主・大僧正によると施しは財力がなくてもできることが七つあるそうです。

1. 眼施：やさしいまなざし
2. 和顔施：なごやか、にこやかな笑顔
3. 言辞施：親切な言葉
4. 身施：相手に対する敬いが溢れる礼儀
5. 心施：心からの思いやり
6. 床座施：ゆずりあい
7. 房舎施：気持ちを込めたもてなし

これならば、貧富を問わなく、実践することができます。別の言い方をすれば、己を犠牲して奉仕することです。これを実践してください。これができた人はもう大変立派な人格者になっています。その人が例え失明しても、多くの人が必ず手を差し伸べてくれます。もうこの人には障害者手帳は無用です。人は権利で生きるのではなく、人の情けで生きられるのです。この事を胸にこれからの人生を生きてください。

(完)